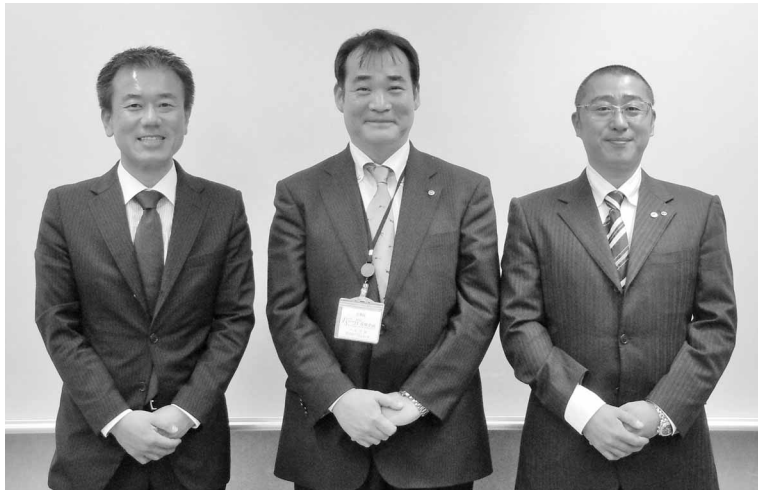


代協の
社会貢献活動
インタビュー

高校生に事故防止への思い伝える

福井県代協 出前講座プロジェクトチーム



(左から)板倉常任理事、下村理事、河野理事

延べ26校で安全教育出前講座を実施

今では代協独自の社会貢献事業のひとつとして定着している、会員代理店が講師となり、運転免許取得を控えた高校生を対象に実施する安全教育出前講座。平成22年に富山県代協で始まり、その後、全国的な活動へと広がっていった。なかでも熱心に取り組んでいるのが福井県代協(水野文紀会長)である。昨年7月には全国初となる教職員向け出前講座を実施。これまでの実施校は延べ26校(うち教職員向け1校)、受講者の累計は約4700名にのぼる(1月実施予定を含む)。そこで、出前講座プロジェクトチームのリーダーである下村文則理事、講師を務める板倉行規常任理事、河野渡理理事に話を聞いた。なお、メンバーはほかに辻大助常任理事、会員の上真祥司氏の計5名。

代協がやるべき社会貢献 講師の経験が仕事にも役立つ

福井県代協では、山県代協の砂川武司さん(平成23年から高校生向けから出前講座「車社会」に出前講座を実施している)が、そのきっかけは、「……」の構想を聞いたと、下村 同じ北陸地域で、日本代協教育委員会でもつながりがあった富

「われわれにしかできないことだ」と確信した。当時の松井峰晴会長を説き、高校生に年齢が近い若手会員を中心に講師候補を選出し、プロジェクトチームを立ち上げ、準備を始めた。

ただ、われわれが一方的にやると決めても、講座を受け入れてくれる高校をどう探せばいいのかはわからなかった。県の教育委員会に相談すると、県内の高校の校長先生が集まる校長会というのがあるのを知り、そこで1分間のプレゼンができることになった。幸い初年度は4校から声をかけてもらった。今では毎年、校長会でプレゼンをさせてもらっており、実施校も増えてきている。

講座の内容は、下村 パワーポイントを使って、交通事故の原

「われわれにしかできないことだ」と確信した。最新の情報は盛り込みながら、毎年、バージョンアップさせている。

最も心を砕いているのが伝え方だ。高校生は大人の嘘や上辺だけの言葉はすぐに見抜き、通用し

因、車を運転する際の注意点を指摘し、本番と同様に繰り返し練習をさせた。流暢に話せなくてもいいから、われわれが高校生に伝えたいことをしっかりと頭に叩き込んで、自分の言葉で話すことが大事だと思



全国初の教職員向け出前講座(福井県立武生高校)

県内全校での実施目指す 好評だった初の教職員向け講座

昨年7月には教職員向けに出前講座を実施したが、「先生に伝える」だけでなく、「先生から生徒へ伝えてもらう」ということに重点を置き、内容も少し違うものにした。

下村 県立武生高校から「教職員向けに、先生に伝える」だけでなく、「先生から生徒へ伝えてもらう」ということに重点を置き、内容も少し違うものにした。

「是非やらせてください」と実現した。武生高校は県内トップクラスの進学校で、3年生の多くは大学受験を控えていることもあって、高校生向けの出前講座は一度もなかった。これまでの実績からい

識がほとんどないので、言葉の選び方など苦労する面がある一方で、素直に話を聞いてくれて、吸収力もある。近い将来、自分にも起こり得る身近な問題だということを感じてもらえるよう、こちらも訴えている。

河野 高校生向けの出前講座の講師をやった日から、多くの気づきがあり、勉強になっている。また、誰にでも理解してもらえるように話すことの難しさも感じている。

見や刺激もある。とくに強調しているのが、免許を取ったとき、まずやるべきこととして、家の車の保険を確認してほしいという話だ。加入しているかどうかは、より深く考え、意識するようになった。

が私の話を真剣に聞いてる姿を見、気持ちがいちやうに伝わっているのを感じると、本当にうれしく、それに応えるため、私もどんどん熱が入る。「伝えている」ということについて、より深く考え、意識するようになった。

と向上させたい。それと私の代理店事務所がある嶺南地方(敦賀市、小浜市など)での実施校がまだ1校のみなので、もっと増やしていきたい。これは、プロジェクトチームのメンバー全員が思いでもあがるが、将来は県内のすべての高校で出前講座を実施し、ひとりでも多くの高校生に聞いてもらいたい。

業系の高校だ。卒業後に仕事などですぐに車を運転する予定の生徒が多く、在籍する高校のほうが積極的である。ただ、福井県は典型的な車社会であり、生活に車が欠かせない。親、先生、そして地域の大人たちが、交通事故の怖さ、車社会に出るこの責任の重さについて、子どもたちに伝えていくことが必要で、代協がその先頭に立つて取り組まないといけないし、その使命があると思

下村 高校生、教職員向けだけでなく、小中学生に対する自転車講座や高齢者向けの講座なども構想中である。リスクがあるところならどこへでも出前するつもりだ。出前講座を受講する人がもっと増え、そのことで県内での交通事故が減り、悲しむ人がひとりでも減ることが、われわれの目指すところだ。将来、この講座を聞いた若者の保険代理店に対するイメージがアップし、将来の職業として代理店を選ぶ、代協の仲間となって一緒に活動できる日がくるとうれしい。そんな日を夢みている。